

つちへん
場

場

⑫

ば

場

ジヨウ
ウ

ニ
ー
VI

ば	場をとる	じょうがい	場外 <small>じょうない</small> ・場内
ばあい	そんな場合か	じょうない	場内 <small>じょうがい</small> ・場外
ばしょ	場所をとる	かいじょう	会場 <small>あつ</small> に集まる
あなば	穴場をさがす	きゅうじょう	球場 <small>やきゅうじょう</small> ・野球場
いちば	市場 <small>だ</small> に出す	ぎじょう	議場 <small>はい</small> に入る
げんば	現場 <small>あらわ</small> に現れる	ぎょじょう	漁場へ出かける
さかば	酒場 <small>の</small> で飲む	しきじょう	式場を予約する
しゅくば	宿場 <small>まち</small> 町	どうじょう	道場 <small>やぶ</small> 破り
しょくば	職場 <small>けっこん</small> 結婚	のうじょう	農場 <small>のうぎょう</small> ・農業
すなば	砂場 <small>あそ</small> で遊ぶ	ぼくじょう	牧場 <small>ほくそう</small> ・牧草
たちば	立場 <small>かんが</small> を考える	まんじょう	満場 <small>いっち</small> 一致
はかば	墓場	よくじょう	浴場 <small>の</small> のあらい場 <small>ば</small>
ひろば	広場 <small>ある</small> に集まる	らいじょう	ご来場 <small>みな</small> の皆さん
ほんば	やっぱり本場	りんじょう	臨場 <small>かん</small> 感あふれる
やくば	役場 <small>つと</small> に勤める		
やまば	<small>いま</small> が山場		

色 いろ

色

⑥

いろ

色

シヨク・シキ

いろ	色 <small>ぬ</small> を塗る	しきさい	色彩
いろがみ	色紙 <small>お</small> を折る	しきそ	色素 <small>がある</small>
ちゃいろ	茶色 <small>ちや</small> い <small>茶</small>	いしょく	異色 <small>さいのう</small> の <small>才能</small>
つちいろ	<small>かお</small> 顔が土色 <small>です</small>	けっしょく	血色 <small>よい</small> が <small>良い</small>
かおいろ	顔色 <small>わる</small> が悪い	げんしょく	原色 <small>あかあおき</small> 赤青黄
ぎんいろ	<small>いちめん</small> 一面銀色 <small>せかい</small> の世界	さいしょく	才色 <small>けんび</small> 兼備
けいろ	毛色 <small>か</small> の <small>変わった</small>	しゅっしょく	出色 <small>のできばえ</small>
こわいろ	声色 <small>か</small> を <small>変える</small>	せんしょく	染色 <small>たい</small> 体
ねいろ	<small>よい</small> 良い音色	だんしょく	暖色 <small>かんしょく</small> ・寒色
はいいろ	灰色 <small>くも</small> の <small>雲</small>	とくしょく	特色 <small>ある</small>
はたいろ	旗色 <small>わる</small> が悪い	はいしょく	配色 <small>かんが</small> を <small>考える</small>
みずいろ	水色 <small>そらいろ</small> ・空色	ぶっしょく	物色 <small>する</small>
		むしょく	無色 <small>とうめい</small> 透明
		めいしょく	明色 <small>あんしょく</small> ・暗色
		けしき	景色 <small>み</small> を <small>見る</small>
		ごしき	五色 <small>まめ</small> 豆

食 シク

食

⑨

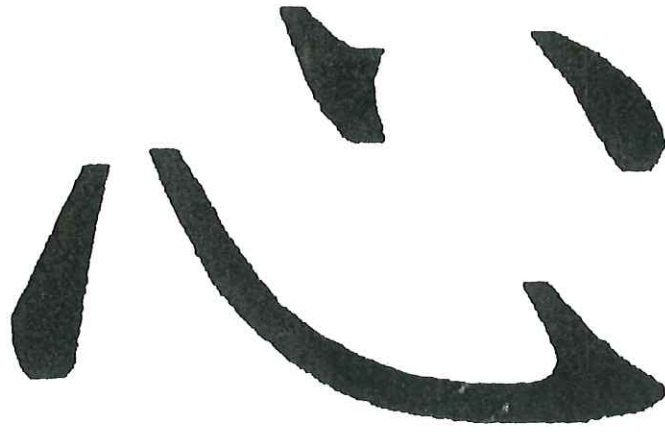
く(う)
た(べる)

食

シヨク・ジキ

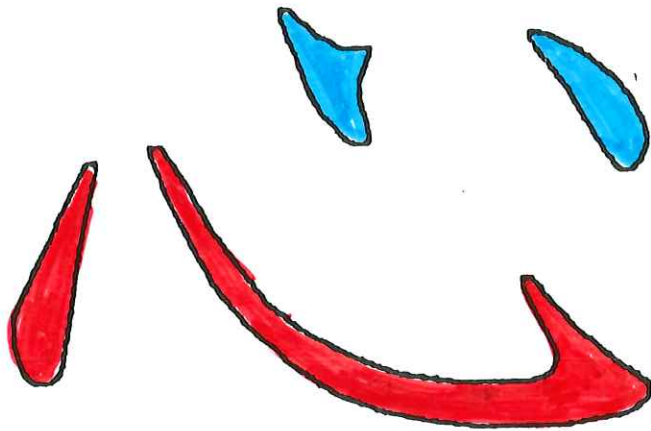
くう	食う ^の ・飲む	いんしょく	飲食 ^店
たべる	食べる ^の ・飲む	きゅうしょく	お昼 ^{ひな} の給食
たべない	食べない	げっしょく	月食 ^{いっぱく} ・日食
		しゅしょく	主食 ^{ふくしょく} ・副食
しょくえん	食塩 ^{ずい} 水	しょうしょく	少食 ^{たいはく} ・大食
しょくご	食後 ^{くだもの} の果物	じょうしょく	～を常食とする
しょくじ	食事 ^{する}	ちゅうしょく	昼食 ^{をとる}
しょくぜん	食前 ^{はくご} ・食後	ちょうしょく	朝食 ^{をとる}
しょくどう	食堂 ^た で食べる	ていしょく	定食 ^た を食べる
しょくひ	食費 ^だ を出す	にくしょく	肉食 ^{かいほく} ・菜食
しょくもつ	食物 ^{たくわ} を蓄える	にっしょく	太陽 ^{たいよう} が欠ける日食
しょくよう	食用 ^{にする}	やしよく	夜食 ^{のラーメン}
しょくよく	食欲 ^{がない}	ゆうしょく	夕食 ^{ちゆうほく} ・朝食
しょくりょう	食料 ^{いりょう} ・衣料	ようしょく	洋食 ^{わほく} ・和食
しょつき	食器 ^{あし} を洗う	りっしょく	立食 ^{パーティー}
		だんじき	断食 ^{いっしゅうかん} 一週間

こころ
心



④

こころ



心

こころ	心 <small>こころ</small> から祝 <small>いわ</small> う	しんつう	心痛 <small>こころいづ</small> のあまり
こころ	心 <small>こころ</small> からお礼 <small>れい</small> を言 <small>い</small> う	しんぼう	心棒 <small>こころぼう</small> になる
うたごころ	歌心 <small>うたこころ</small> がある	しんり	心理 <small>こころ</small> ・生理 <small>せいり</small>
おやごころ	子 <small>こ</small> を思 <small>おも</small> う親心 <small>おやこころ</small>	しんろう	心勞 <small>こころろう</small> のあまり
まごころ	気心 <small>きこころ</small> が知 <small>し</small> れた人 <small>ひと</small>	しんがん	心眼 <small>こころまなこ</small> を開 <small>ひら</small> いて
さとごころ	里心 <small>さとこころ</small> がつく	あんしん	安心 <small>あんしん</small> する
したごころ	下心 <small>したこころ</small> がある	いっしん	一心 <small>いっしん</small> 不 <small>ふ</small> 乱 <small>らん</small> に
まごころ	真心 <small>まごころ</small> から	えんしん	遠心 <small>えんしん</small> 力 <small>りよく</small>
こち	心地 <small>こち</small> よい	かいしん	会心 <small>かいしん</small> のできばえ
しんがい	それは心外 <small>しんがい</small> だ	かんしん	感心 <small>かんしん</small> する
しんきょう	心境 <small>しんきょう</small> を語 <small>かた</small> る	きしん	帰心 <small>きしん</small> 矢 <small>や</small> のごとし
しんけつ	心血 <small>しんけつ</small> を注 <small>そそ</small> ぐ	ぎしん	疑心 <small>ぎしん</small> 暗 <small>あん</small> 鬼 <small>き</small>
しんしん	心身 <small>しんしん</small> ともに健康 <small>けんこう</small>	くしん	苦心 <small>くしん</small> さんたん
しんじょう	心情 <small>しんじょう</small> を語 <small>かた</small> る	けっしん	決心 <small>けっしん</small> がつく
しんぞう	心臓 <small>しんぞう</small> ・肺臓 <small>はいぞう</small>	こうしん	孝心 <small>こうしん</small> ・孝子 <small>こうし</small>

新 おのへんり

新

13

シン

新

あたらし (しい)

あら (た)

あたらしい 新らしい・ふる古い

あらた 新たはじに始める

あらて 新手くわが加わる

しんあん 新案とっきよ特許

しんかん 新刊きゅうかん・旧刊

しんがお 新顔ふるがお・古顔

しんがた 新型きゅうがた・旧型

しんきゅう 新旧ともに

しんきよ 新居たずを訪ねる

しんきょう 新教きゅうきょう・旧教

しんげつ 新月まんげつ・満月

しんこう 新興かいしゃの会社

しんご 新語つくを作る

しんさく 新作しょうかい紹介

しんざん 新参もの者

しんしき 新式きゅうしき・旧式

しんしゃ 新車のに乗る

しんしゅん 新春よろこお慶び

しんしょ 新書ほん版の本

しんしん 新進きえい気鋭ひとの人

しんじん 新人はいが入る

しんせい 新生じ児

しんせつ 新設する

しんせつ 新説をたてる

しんそつ 新卒さいよう採用

しんちく 新築する

しんちゃ 新茶はおいしい

しんでん 新田ひらを開く

しんにん 新任せんせいの先生

しんねん 新年おめでとう

親 みる

親

⑩

おや
した(しい)

親

シン

おや 親こと子
 おやかた 親方になる
 おやこ 親子きょうだい
 おやごころ 子こをおもう 親心
 おやしお 黒潮くろしお・親潮
 おやだま 親玉をつかまえる
 おやどり 親鳥ことり・子鳥
 おやぶん 親分こぶん・子分
 おやもと 親元はなを離れる
 おやゆび 親指こゆび・小指
 おんなおや 女親おとこおや・男親
 かたおや 片親りょうしん・良心
 さとおや 里親になる
 ちちおや 父親ははおや・母親
 ははおや 母親ちちおや・父親
 ふたおや 二親わかと別れる

しんきん 親近かん感を持つ
 しんけん 親権しゃ者
 しんせつ 親切にする
 しんぜん 日米にちべい親善
 しんぞく 親族いちどう一同
 しんとう 一親等に しんとう・二親等
 ・三親
 しんにち 親日か家
 しんのう 内親王
 しんみ 親身になつて
 しんみつ 親密かんけいな関係
 しんゆう 彼かれは親友です
 しんるい 親類ひとの人
 きんしん 近親しゃ者
 にくしん 肉親こえの声
 りょうしん 父ちちと母ははの 両親

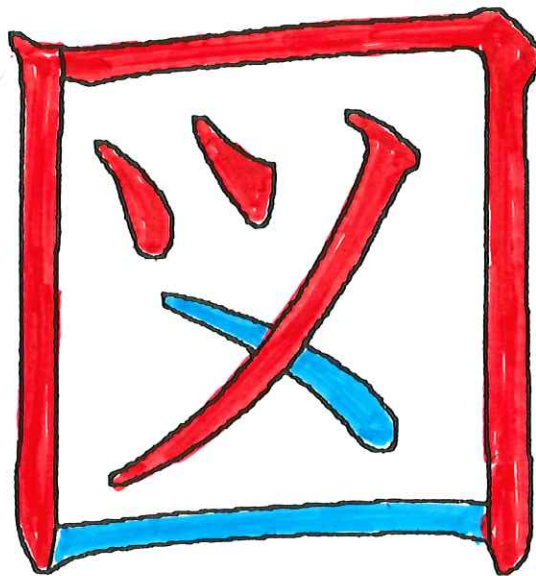


くにがま



⑦

はか(る)



ズ・ト

はかる	図る	えず	むかしの絵 <small>ちず</small> 図
		かいず	海 <small>ちず</small> 図・地 <small>ちず</small> 図
		けいず	系 <small>ら</small> 図を調べる
		げんず	原 <small>ら</small> 図・コピー
ずあん	デザイン 図案	こうず	構 <small>かんが</small> 図で考える
ずが	図画 <small>をかく</small>	さくず	作 <small>する</small> 図
ずけい	図形 <small>をかく</small>	しゅくず	縮 <small>かくだいず</small> 図・拡大 <small>かくだいず</small> 図
ずこう	図工 <small>じかん</small> の時間	せいず	製 <small>はん</small> 図版
ずし	図示する	ちず	地 <small>かいず</small> 図・海 <small>かいず</small> 図
ずしき	図式 <small>にあらわす</small>	りゃくず	略 <small>をかく</small> 図
ずひょう	図表 <small>にあらわす</small>	いと	意 <small>をかくす</small> 図
ずぼし	図星 <small>をさす</small>		
ずめん	図面 <small>をかく</small>		

数

かず

数

13

かず
かぞ (える)

数

スウ・ス

かず	数 ^{かぞ} を数える	いんすう	因数 ^{ぶんかい} 分解
かぞえる	かず ^{かず} 数を数える	かいすう	回数 ^{かさ} を重ねる
あたまかず	あたま ^{あたま} 頭数 ^{かず} をそろえる	かくすう	画数 ^{かぞ} を数える
くちかず	口数 ^{おほ} が多い	ぎょうすう	行数 ^{かぞ} を数える
ばかず	場数 ^{かぞ} をふむ	けいすう	まるまる ^{まるまる} 係数
すうかい	数回 ^{まいかい} ・毎回	こすう	むら ^{むら} 村の戸数
すうがく	数学 ^{さんすう} ・算数	さっすう	冊数 ^{かぞ} を数える
すうし	数詞 ^{いち に さん} 一、二、三	さんすう	算数 ^{すうがく} ・数学
すうしき	数式 ^{こうしき} ・公式	しすう	ぶつ ^{ぶつ} か物価指数
すうじ	数字 ^{かんじ} ・漢字	しょうすう	小数 ^{てん} 点
すうち	数値 ^よ を読む	しょうすう	少数 ^{たすう} ・多数
すうにん	数人 ^い で行く	じっすう	実数 ^{きよすう} ・虚数
すうねん	数年 ^{すう げつ} ・数か月	じょうすう	乗数 ^{ひじょうすう} ・被乗数
すうばい	数倍 ^い になる	じよすう	除数 ^{ひ じよすう} ・被除数
すうりょう	数量 ^{もと} を求める	せいすう	整数 ^{ぶんすう} ・分数
		たすう	多数 ^{しょうすう} ・少数

西にし

西

⑥

にし

西

セイ・サイ

にし	西 ^{ひがし} ・東	さいか	西下 ^{とうじょう} ・東上
にしかぜ	西風 ^{つよ} が強い	せいれき	西曆 ^{にせんねん} 二千年
にしび	西日 ^{あさひ} ・朝日	せいけい	西経 ^{とうけい} ・東経
		せいしん	西進 ^{とうしん} ・東進
		せいなん	西南 ^{とうなん} ・東南
		せいぶ	西部 ^{げき} 劇
		せいほう	西方 ^{とうほう} ・東方
		せいほく	西北 ^{とうほく} ・東北
		せいよう	西洋 ^{とうよう} ・東洋
		かんさい	関西 ^{かんとう} ・関東
		とうざい	東西 ^{なんほく} ・南北

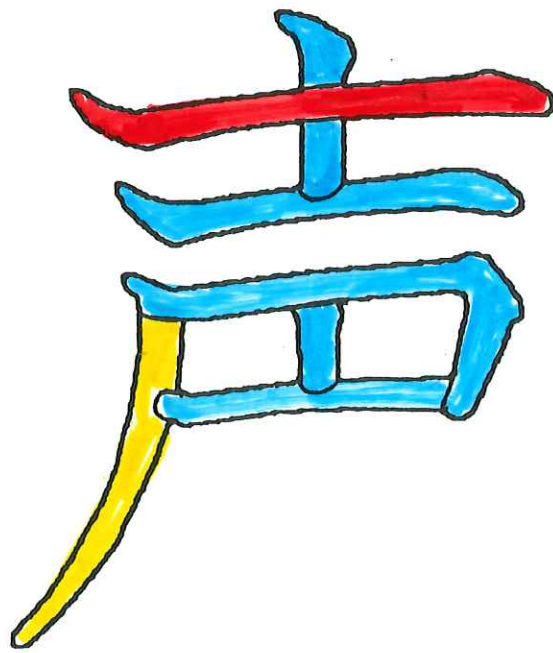


こゑらい

声

⑦

こえ・こわ



セイ・シヨウ

こえ	声 <small>をあげる</small>	せいいき	声域 <small>が広い</small>
こえ	声 <small>を出す</small>	せいか	声価 <small>を高める</small>
こわいろ	声色 <small>をかえる</small>	せいがく	声楽・器楽
うぶごえ	産声 <small>をあげる</small>	せいたい	声帯 <small>がふるえる</small>
こごえ	小声 <small>で話す</small>	せいめい	声明 <small>を発表</small>
じごえ	地声 <small>で歌う</small>	せiyゆう	アニメの声優
はなごえ	鼻声 <small>を出す</small>	せiryō	声量 <small>豊か</small>
ひとごえ	人声 <small>がする</small>	おんせい	音声 <small>多重放送</small>
		けいせい	形声 <small>文字・象形</small>
		こんせい	混声 <small>合唱</small>
		にくせい	肉声 <small>を聞く</small>
		びせい	美声 <small>の持ち主</small>
		むせい	無声 <small>映画</small>
		めいせい	名声 <small>をあげる</small>
		わせい	和声 <small>の理論</small>

星 ひ

星

⑨

ほし

星

セイ・シヨウ

ほし 星・つき月

ほしぞら 星空をみる

くろぼし 黒星かさを重ねる

しろぼし 白星・くろぼし黒星

ずぼし 凶星をさす

せいうん 星雲ほしは星の集まりあつ

せいざ 星座

えいせい ちきゅう地球の衛星つきは月

かせい 火星・すいせい水星・どせい土星

きんせい すいせい水星・金星

ゆうせい 遊星 = わくせい惑星

りゅうせい 流星・なが流れ星ほし

みょうじょう 明星 = きんせい金星

みょうじょう 明けの明星

みょうじょう よい宵の明星

晴

ひん

晴

⑫

は
(れる)

晴

セイ

はれ 晴れ・曇り・雨
 はれる 晴れる・曇る
 はればれ 晴ればれする

せいう 晴雨を問わず
 せいてん 本日は晴天なり
 せいろう 天気晴朗なれど
 かいせい 快晴・晴れ

切 かたな

切

④

き(る)

切

セツ・サイ

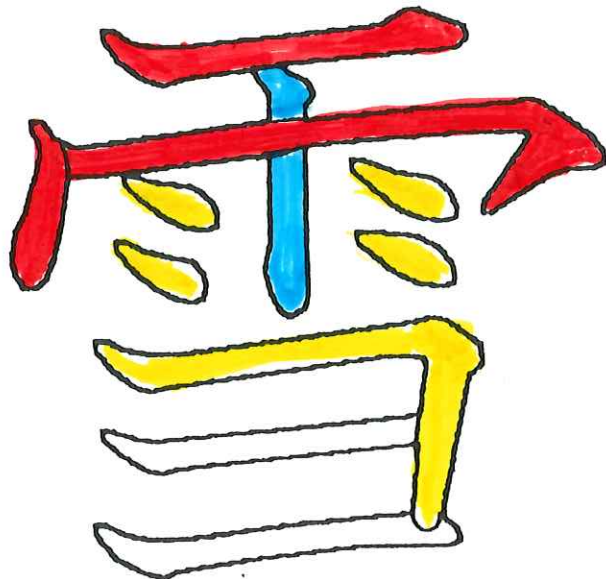
きる	切る	せつじょ	切除 <small>する</small>
きらない	切らない	せっかい	切開 <small>手術</small>
きって	切手 <small>を貼る</small>	せっぷく	切腹 <small>する</small>
		せつじつ	切実 <small>ねがな</small> 願 <small>い</small>
		せつだん	切断 <small>する</small>
		いっさい	一切 <small>しらん</small>
		がっさい	<small>いっさい</small> 一切合切
		しんせつ	親切 <small>にする</small>
		たいせつ	大切 <small>にする</small>
		つうせつ	痛切 <small>かん</small> に感 <small>じる</small>
		てきせつ	適切 <small>しよち</small> な処 <small>ち</small> 置



あめかんむり



ゆき



セツ

ゆき	雪 <small>ふ</small> が降る	せつがい	雪害 <small>すいがい</small> ・水害
ゆきんこ	雪んこ		
ゆきぐに	雪国	ざんせつ	<small>やま</small> の残雪
ゆきぐも	雪雲 <small>あまぐも</small> ・雨雲	せきせつ	積雪 5メートル
ゆきどけ	雪どけ <small>みず</small> 水	はくせつ	白雪 <small>ふ</small> を踏んで
ゆきみ	雪見 <small>い</small> に行く	ひょうせつ	氷雪 <small>きこう</small> 気候
ゆきみち	雪道 <small>ころ</small> で転ぶ	ふうせつ	風雪 <small>た</small> に耐えて
こなゆき	粉雪 <small>ま</small> が舞う		
こゆき	小雪がちらつく		
ねゆき	根雪がとける		
はつゆき	初雪 <small>や</small>		
わたゆき	綿雪		

舟 船

ふね へん

舟 船



ふね・ふな

舟 船

せん

ふね	船 <small>の</small> に乗る	きせん	汽船・汽車 <small>きしゃ</small>
ふなあし	船足 <small>はや</small> が速い	きやくせん	客船・貨物船 <small>かもつせん</small>
ふないた	船板 <small>いちまい</small> 一枚海 <small>そこ</small> の底	ぎよせん	漁船・商船 <small>しょうせん</small>
ふなじ	船路 <small>なみじ</small> ・波路	しょうせん	商船・軍艦 <small>ぐんかん</small>
ふなたび	船旅 <small>たの</small> を楽しむ	じょうせん	乗船する
ふなちん	船賃 <small>うんちん</small> ・運賃	びんせん	便船 <small>な</small> が無い
ふなびん	船便 <small>おく</small> で送る	ふうせん	風船 <small>と</small> を飛ばす
		ぼせん	母船 <small>しきせん</small> 式船団
くろふね	ペリーの黒船		
こふね	小船 <small>おおふね</small> ・大船		
たからふね	宝船 <small>たからもの</small> ・宝物		
ゆふね	湯船につかる		

線

線

15

線

せん

訓読みなし

せん 線^ひを引く

せんろ 線路^しを敷く

せんひき 線引き^{じょうぎ} = 定規

いっせん 一線^{なら}に並ぶ

えんせん 電車^{でんしゃ}の沿線

しんかんせん 新幹線

がいせん 外線^{がいせん}・内線

きょくせん 曲線^{まがせん}・直線

けいせん 経線^{けいせん}・緯線

こうせん 光線^{ひかりせん}は直線

こうせん 鋼線

ごせん 五線^{ごせん}紙

しせん 支線^{しせん}・幹線

しせん 死線^{しせん}をこえる

しせん 視線^{しせん}を感ずる

じっせん 実線^{じつせん}・点線

すいせん 垂線^{すいせん}・垂直

たんせん 単線^{たんせん}・複線

ちよくせん 直線^{ちよくせん}・曲線

てんせん 点線^{てんせん}・実線

でんせん 電線^{でんせん}・電話線

どうせん 導線^{どうせん}をつなぐ

どうせん 銅線^{どうせん}を巻く

はくせん ぼうしの白線

ふくせん 複線^{ふくせん}・単線

ほんせん 本線^{ほんせん}・支線

むせん 無線^{むせん}電信

ゆうせん 有線^{ゆうせん}放送

ろせん バス路線

2007

前

りつとう

前

⑨

まえ

前

ゼン

二一VII

まえ	前・ <small>うし</small> 後ろ	ぜんしん	前進・ <small>こうしん</small> 後進
まえきん	前金 <small>を払う</small>	ぜんりやく	前略 <small>ごめんください</small>
まえば	前歯 <small>を折る</small>	いぜん	以前・ <small>いご</small> 以後
まえまえ	前前から	くうぜん	空前 <small>ひとで</small> の人出
いたまえ	板前さん	ごぜん	午前・ <small>ごご</small> 午後
おとこまえ	男前 <small>=<small>にまいめ</small>二枚目</small>	しょくぜん	食前・ <small>しょくご</small> 食後
きまえ	気前 <small>がよい</small>	しんぜん	神前 <small>けっこん</small> 結婚
てまえ	手前 <small>にひく</small>	じぜん	事前 <small>そうだん</small> の相談
でまえ	出前 <small>をとる</small>	すんぜん	寸前 <small>にわか</small> に分かる
なまえ	名前 <small>=<small>しめい</small>氏名</small>	せいぜん	生前・ <small>しご</small> 死後
ひだりまえ	左前 <small>になる</small>	ちよくぜん	直前・ <small>ちよくご</small> 直後
ひとまえ	人前 <small>にで</small> 出る	ぶつぜん	仏前 <small>けっこん</small> 結婚
		ぼぜん	墓前 <small>ほうこく</small> に報告
		めんぜん	面前 <small>にで</small> 出る
		もくぜん	目前 <small>せま</small> に迫る
		もんぜん	門前 <small>いち</small> 市をなす

組

くみ

組



く (む) くみ

組

ソ

くみ 組づくを作る

そかく 組閣ほんぶ本部

くむ くみ組を組む

そしき 組織をつくる

くみあい 組合かいは・会社

くみきょく 組曲

くみちょう 組長

いちくみ 一組いっくみ・二組にくみ・三組さんくみ

ばんぐみ テレビの番組

走

はしる

走

⑦

はし(る)

走

ソウ

はしる 走る・ある歩く

はしらない 走らない

はしりっこ 走りっこ

かいそう 快走するランナー

きょうそう 100メー トル競走

じゅうそう だいせつざん大雪山縦走

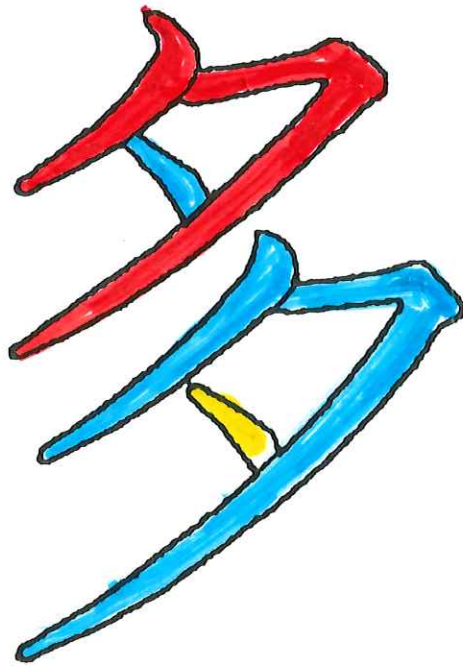


ゆうべ・た



⑥

おお (い)



おおい	多い・少ない	たぶん	多分 そうですね
		ためん	多面 <small>たい</small> 体
たかく	多角 <small>てき</small> 的に仕事 <small>しごと</small> する	たよう	多様 <small>せいぶつ</small> な生物
たかん	多感 <small>せいねん</small> な青年時代 <small>じだい</small>	たよう	多用する
たかく	多額 <small>しゃっきん</small> の借金	たりよう	多量・少量 <small>しょうりょう</small>
たげい	多芸 <small>たさい</small> 多才		
たこう	ご多幸 <small>いの</small> を祈る	かた	過多
たさい	多芸 <small>たげい</small> 多才	さいた	最多・最少 <small>さいしょう</small>
たさん	多産 <small>しょうさん</small> ・少産	ざった	種々 <small>しゅじゅ</small> 雑多
たしゅ	多種 <small>たよう</small> 多様		
たしょう	多少 <small>しょうしょう</small> = 少々		
たすう	多数 <small>しょうすう</small> ・少数		
たぜい	多勢 <small>ぶぜい</small> に無勢		
ただい	多大 <small>そんがい</small> な損害		
たなん	多事 <small>たなん</small> 多難		
たねん	多年 <small>くろう</small> の苦勞 <small>みの</small> が実り		

2101

太

たい

太

④

ふた (5)

太

タイ・タ

ふとい 太い・ほそ細い

ふとった 太ったぶた豚

ふでふと 筆太な文字もじ

ほねふと 骨太ひと人

たいこ 太古むかしの昔から

たいし しょうとく聖徳太子

たいへい 太平よの世

たいへいよう 太平よう洋

たいよう 太陽・つき月・ほし星

たち ひと一太刀あ浴びせる

体 にんぶん

体

⑦

からだ

体

タイ・テイ

からだ	体 ^{こころ} と心	ていさい	体裁 ^{わる} が悪い
からだ	体 ^{あら} を洗う		
		いたい	遺体 ^{かくにん} を確認
たいいく	体育 ^{じかん} の時間	いったい	一体 ^{ぜんたい} 全体
たいおん	体温 ^{けい} 計 ^{はか} で計る	えきたい	液体 ^{こたい} ・固体
たいかく	体格 ^よ が良い	えたい	得体 ^し が知れない
たいけい	体形 ^か が変わる	きたい	機体 ^{かたむ} が傾く
たいけい	体系 ^{てき} 的に調 ^{しら} べる	きたい	気体 ^{えきたい} ・液体 ^{こたい} ・固体
たいけん	体験 ^{する}	ぐたい	具体 ^{てき} 的に言 ^{いう}
たいしつ	体質 ^あ が合わない	けいたい	敬体 ^{しょうたい} ・常体
たいじゅう	体重 ^{はか} を計る	こくたい	国体 ^で に出る
たいせき	体積 ^{ようせき} ・容積	こたい	固体 ^{えきたい} ・液体 ^{きたい} ・気体
たいそう	新 ^{しん} 体操	ごたい	五体 ^{まんぞく} 満足なら
たいとく	体得 ^{する}	したい	死体 ^う を埋める
たいない	体内 ^{たいがい} ・体外	しゃたい	車体 ^{しら} を調 ^べ る
たいりよく	体力 ^{がある}	しょうたい	正体 ^{ふめい} 不明

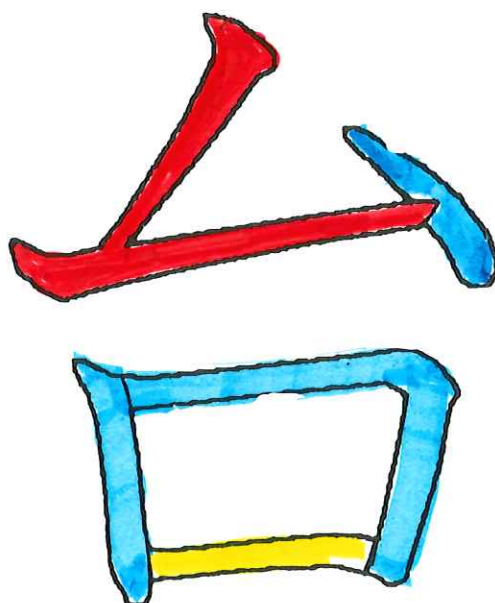
2
1
0
3



く
ち



⑤



ダイ
・
ダイ

だい	台 <small>の</small> に乗る
だいし	台紙 <small>は</small> に貼 <small>る</small>
だいち	台地 <small>さんち</small> ・山地 <small>ち</small>
だいちょう	台帳 <small>つ</small> を付ける
だいどころ	台所 <small>の</small> ゴキブリ
だいばかり	台秤 <small>はか</small> で計る
だいほん	台本 <small>よ</small> を読む
えんだい	演台 <small>あ</small> に上がる
きょうだい	鏡台 <small>て</small> ・手鏡 <small>かがみ</small>
たかだい	高台 <small>に</small> のぼる
とうだい	灯台 <small>もと</small> 下 <small>くら</small> 暗し
どだい	土台 <small>つく</small> を作る
ばんだい	番台 <small>すわ</small> に座る
やたい	屋台 <small>の</small> ラーメン

地 ちへん

地

⑥

地

チ・ジ

ちい 地位たかが高い
 ちいき 地域
 ちか 地下ちじょう・地上
 ちかい 地階ちゅうしゃじょうに駐車場
 ちきゅう 地球ごう号
 ちく ○○地区
 ちけい 地形ず図よを読む
 ちしつ 地質がく学
 ちじょう 地上ちちゅう・地中
 ちず 地図かい・海図ず
 ちそう 地層ひょうめん表面
 ちたい 危険地帯きけん
 ちちゅう 地中ちじょう・地上
 ちてい 地底たんけん探検
 ちてん ある地点ちじょうから
 ちねつ 地熱はつでん発電
 ちひょう 地表ちちゅう・地中
 ちほう 地方ちゅうおう・中央
 ちみ 地味こが肥こえている
 ちり 地理れきし・歴史

かくち 各地はいちに配置
 きち 発進基地はっしん
 きよくち 局地的な集中豪しゅうちゅうごう
 う 雨
 きよくち 極地ほっきょく・北極なんきょ・南極
 けんち 高い見地みから見る
 げんち 現地でに出かける
 さんち 山地さんみゃく・山脈
 さんち 産地はどこか
 せいち 聖地おとずを訪れる
 だいち 台地さんち・山地
 じごえ 地声うたで歌う
 じめん 地面ちちゅう・地中
 じもと 地元しゅつばから出馬
 いじ 意地をはる
 うらじ 裏地おもてじ・表地
 したじ 下地をこしらえる
 しろじ 白地あかに赤ひ 日まるの丸
 すなじ 砂地にしみこむにしみこむ

池
いけ

池

⑥

い
け

池

子

2105 池

いけ

池・川・海
かわ うみ

でんち

電池をかえる

ふるいけ

古池や
かわず みず おと
蛙とびこむ水の音

知  やへん

知

⑧

し
(る)

知 

子

しる 知る・知らない

しらない 知らない

知っている 知っている

ちいく

ちき

ちしき

ちじん

ちてき

ちのう

ちめい

ちりやく

ちりよく

きち

きゅうち

こくち

さいち

しゅうち

しょうち

じゅくち

じんち

たんち

ほうち

みち

むち

りち

知育・^{たいく}体育・^{とくいく}徳育

知己

知識がある

知人しょうかいに紹介する

知的せいけつな生活

知能しすう指数

知名人しん

知略をつくす

知力をつくす

機知とに富む

旧知あいだの間がら

告知する

才知ひとあふれる人

衆知しじつの事実

承知する

熟知する

人知こを超える

魚群ぎょぐん探知き機

火災かさい報知き器

未知せかいの世界

無知ひとな人

理知かお的な顔

茶

くさかんむり

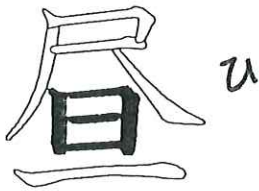
茶

⑨

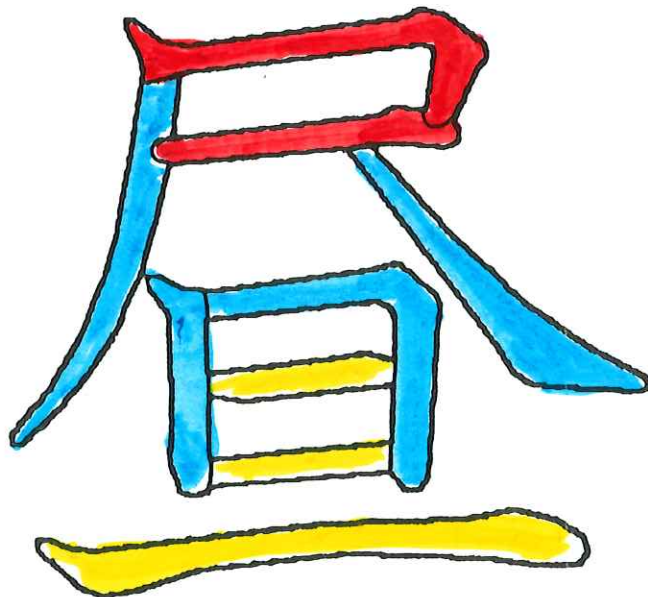
茶

チヤ・サ

ちゃ	茶色のセーター
ちゃろ	^{ちやいろ} 茶色い茶
ちゃ	^{みどりいろ} 緑色のお茶
ちやいろ	茶色い ^{ちや} 茶
ちやかい	お茶会をする
ちやしつ	^{ちやかい} 茶会の茶室
ちやばん	それは茶番だ
こうちゃ	紅茶を入れる
しんちゃ	新茶はおいしい
むぎちゃ	麦茶 ^の を飲む
むちゃ	無茶 ^{くちや} 苦茶
ゆちゃ	湯茶 ^の もてなし
りよくちゃ	緑茶 ^の を飲む
さわ	茶話 ^{かい} 会



ひる



チユウ

ひる 昼・夜

ちゅうしょく 昼食をとる
ちゅうや 昼夜を問はず
はくちゅう 白昼のお化け

ひるま 昼間から酒をのむ

ひるめし 昼飯を食べる

まひる 真昼・真夜中

よるひる 夜昼問はず

長

ながい

長

⑧

長

なが
(い)

チヨウ

ながい 長い・みじか短い
 ながさ 長さ・おお大きさ

ながい 長居する
 ながねん 長年にわたり
 ながばなし 長話をする
 ながや 長屋く暮らし

きなが 気長まに待つ
 よなが 秋あきの夜長

ちょうおん 長音・たんおん短音
 ちょうかん 官房かんぼう長官
 ちょうき 長期・たんき短期

ちょうしょ 長所・たんしょ短所
 ちょうしん 長針・たんしん短針

ちょうじゃ 長者どん
 ちょうじょ 長女・ちょうなん長男
 ちょうちょう 長調・たんちょう短調

ちょうなん 長男・ちょうじょ長女
 ちょうぶん 長文・たんぶん短文
 ちょうへん 長編しょうせつ小説・たんべん短編

ちょうめい 長命ひとの人
 ちょうろう 長老きに聞く

いんちょう 医院いいんの院長

えきちょう 駅えきの駅長

えんちょう 幼稚園ようちえんの園長

えんちょう 延長する

かちょう 課長・ぶちょう部長

がくちょう 学長・えんちょう園長

きちょう 機長はんたんの判断

きゅうちょう 級長・ふくきゅうちょう副級長

ぎちょう 議長・ふくぎちょう副議長

こうちょう 学校がっこうの校長

しちょう 市長・ちようちょう町長

しゃちょう 社長・かいちょう会長

しよちょう 警察けいさつ署長

しんちょう 身長のが伸びる

たいちょう 隊長になる

だんちょう 使節団しせつだんの团长

ちょうちょう 町長・そんちょう村長

とくちょう 特長がある

ねんちょう 年長・ねんしょう年少

はちょう 波長あが合う

ぶちょう 部長・しゃちょう社長

鳥 とり

鳥



とり

鳥

チヨウ

とり 鳥^とが飛ぶ

とり 鳥^{こえ}の声

とりい 神社^{じんしゃ}の鳥居

とりめ 鳥目・かけ

ことり 小鳥^かを飼う

おやどり 親鳥^{ことり}・子鳥^{ある}

ちどり 千鳥^{あし}足^{ある}で歩く

ふゆどり 冬鳥^{なつどり}・夏鳥^は

みずとり 水鳥^はの羽音^{おと}

やまどり 山鳥^{うみどり}・海鳥

ちょうるい 鳥類^{ほにゅうるい}・哺乳類

あいちょう 愛鳥^{しゅうかん}週間^{えきちゅう}

えきちょう 益鳥^{えきちゅう}・益虫

かちょう 花鳥^{ふうげつ}風月

がいちょう 害鳥^{えきちゅう}・益鳥

はくちょう 白鳥^{みずうみ}の湖

やちょう 野鳥^{かい}の会

2
1
1
1

朝 (あさ)

朝

⑫

あさ

朝

ち
よ
う

あさ 朝ばん晩
あさ 朝ゆう夕

あさいち 朝市でに出かける
あさかぜ 朝風ゆうかぜ・夕風

あさがた 朝方ゆうがた・夕方

あさばん 朝晩まいお参りする

あさひ 朝日ゆうひ・夕日

あさめし 朝飯まえ前

あさゆう 朝夕か欠かさず

まいあさ 毎朝まいゆう・毎夕
よくあさ 翌朝よくじつ・翌日

けさ 今朝

ちょうかい 朝会おくに遅れる

ちょうかん 朝刊ゆうかん・夕刊

ちょうしょく 朝食をとる

ちょうらい 朝礼あいさつの挨拶

いっちょう 一朝こと事ある時はとき

おうちょう エジプト王朝

さくちょう 昨朝さくゆう・昨夕

そうちょう 早朝あつから集まる

みょうちょう 明朝はや早く出しゅつ発

らいちょう 来朝らいにち・来日

道 め

道

⑧

チヨク・ジキ

道

ただ(ちに)・なお(す)

ただちに 直なおちに直なおす

なおす こわれたところ所を直なおす

すなお 素直いちばんが一番

じきでん 先生せんせい直伝

ちよくえい 本社ほんしゃ直營

ちよくご 直後ちよくぜん・直前

ちよくしゃ 直射にっこう日光

ちよくせつ 直接かんせつ・間接

ちよくせん 直線きよくせん・曲線

ちよくぜん 直前ちよくご・直後

ちよくちょう 直腸だいちょう・大腸

ちよくりゅう 直流でんりゅう・交流こうりゅう

ちよっか 直下ちよくじょう・直上

ちよっかく 直角へいかく・平角

ちよっきゅう 直球・カーブ

ちよっけい 円の直徑はんけい・半径

ちよっけい 直系そんぞく尊族

しゅくちよく 今夜こんやは宿直

じっちよく 実直ひとな人

すいちよく 垂直しゅうじよくをおろす

にっちよく 日直しゅうばん・週番

しょうじき 正直いに言う

2
1
1
3

通

ト
ニ
チ
ウ

通

⑩

二一VIII

ツウ・ツ

通

とお(る)

かよ(う)

かよう がっこう 学校に通う

とおる 通る
とおらない 通らない

つういん 通院・つうがく 通学

つうか 通過する

つうがく 通学・つうえん 通園

つうきん 通勤でんしゃ 電車

つうこう 通行きんし 禁止

つうしょう 日米にちべい 通商じょうやく 条約

つうじょう 通常のことです

つうせつ 通説によれば

つうちょう 通帳きちょう に記帳する

つうよう 通用門はい から入る

つうろ 通路ある を歩く

つうわ 一いっ 通話じゅうえん 十円

かいつう ~が開通する

きょうつう 共通わだい の話題

こうつう 交通せいり 整理

ふつう おんしん 音信不通

ぶんつう 文通する

べんつう 便通がある

りゅうつう もの 物の流通

つや お通夜ばん の晩

弟

ゆみ

弟

⑦

おとうと

弟

ダイ・テイ・デ

おとうと 弟・妹 いもうと

おとうと 兄・弟 あに

おとうとぶん 弟分

きょうだい 兄弟

けいてい 兄弟 しまい 姉妹

ていまい 弟妹・姉妹 しまい

ぎてい 義弟・義兄 ぎ けい

こうてい 孔子の高弟 こうし

してい 子弟の教育 きょういく

してい 師弟 かんけい 関係

とてい 徒弟 せいど 制度

もんてい 門弟・門人 もんじん

でし 弟子

店

まだれ

店

⑧

みせ

店

テン

みせ	店 <small>ひら</small> を開く	てんいん	みせの店員
		てんしゅ	店主・店員
みせさき	店先 <small>はな</small> で話す	てんとう	店頭販売
みせばん	店番をする		
みせや	お店屋さんごっこ	かいてん	開店 <small>いわ</small> 祝い
		してん	支店・本店
よみせ	夜店 <small>で</small> に出かける	しょうてん	商店街
		しょてん	書店の店頭
		ほんてん	中華飯店
		ばいてん	売店 <small>キオスク</small>
		ほんてん	本店・支店
		らいてん	ご来店 <small>ありがとうございます</small>

2
1
1
6



れん
が



⑨



テン

てんかく かんじ 漢字の**点画**
 てんこ あさ 朝の**点呼**

てんじ もうじん 盲人のための**点字**

てんすう **点数**をとる

てんせん **点線**・じっせん実線
 てんてん **点点**と続く

かんでん か **観点**を変える
 きてん とうきょう 東京を**起点**として
 くてん **句点**・とうてん読点

けってん **欠点**をあげつらう
 げんでん **原点**にもどる

こうてん **交点**がない

こくてん たいよう 太陽の**黒点**

してん **支点**・りきてん力点・きやうてん作用点
 してん **視点**を変える

しゅうてん **終点**・してん始点
 じてん **次点**に泣く
 じゃくてん **弱点**を補う

じゅうてん **重点**的に調べる
 ちてん ある**地点**から

ちょうてん **頂点**・へん辺・かく角
 ていてん **定点**・かんそく観測

とうてん **読点**・くてん句点
 とくてん **得点**・しってん失点

どうてん **同点**になる
 なんてん **難点**がある
 ひょうてん **氷点**・かじゅうど下十度
 びてん **美点**・けってん欠点

まんてん **満点**をとる
 ようてん **要点**をまとめる
 りきてん **力点**をおく
 りてん **利点**がある



あめかみむら

電

13



デン

でんあつ	電圧 <small>こうてい</small> の高低	かんでん	感電 <small>し</small> 死する
でんか	電化 <small>せいひん</small> 製品	がいでん	外電 <small>がい</small> によると
でんき	電気 <small>せいひん</small> 製品	しでん	市電 <small>し</small> に乗る
でんきゅう	電球 <small>たま</small> の球	しゅくでん	祝電 <small>う</small> を打つ
でんきよく	電極 <small>た</small> のプラス	たいでん	プラスに帯電する
でんげん	電源 <small>かいはつ</small> 開発	ていでん	停電する
でんし	電子 <small>けんびきょう</small> 顕微鏡		
でんしゃ	電車 <small>の</small> に乗る		
でんせん	電線 <small>でんわせん</small> ・電話線		
でんち	電池 <small>か</small> を換える		
でんちゅう	電柱 <small>えんちゅう</small> ・円柱・角柱		
でんとう	電灯 <small>を</small> をつける		
でんねつ	電熱 <small>き</small> 器		
でんぱ	電波 <small>おんぱ</small> ・音波		
でんぼう	電報 <small>う</small> を打つ		
でんりゅう	電流 <small>でんあつ</small> ・電圧・抵抗		
でんりよく	電力 <small>でんき</small> ・電気		
でんわ	<small>なが</small> 電話 <small>を</small> する		

刀 なた

刀

②

なた

刀

トウ

かたな 刀^さを差す
かたなきず 刀傷・創傷^{そうしょう}

とうこう 刀工・陶工^{とうこう}

たいとう 名字^{みょうじ}帯刀^{おび}を許す^{ゆる}

たんとう 短刀^{たんとう}・長刀^{ちやうとう}
ほうとう 伝家^{でんか}の宝刀

ぼくとう 木刀^{きとう}・竹刀^{しんたい}
めいとう 名刀^{めいとう}正宗^{まさむね}

たち 一^{ひと}太刀^{たがひ}あびせる

しんたい 竹刀^{しんたい}で叩く^{たた}

冬 ふゆ

冬

⑤

ふゆ

冬

ふゆ

ふゆ 冬くが来る

ふゆ 冬さむいは寒い

ふゆぎ 冬着なつぎ・夏着

ふゆぞら 冬空なつぞら・夏空

ふゆどり 冬鳥なつどり・夏鳥

ふゆば 冬場なつもののスキー場じょう

ふゆもの 冬物なつもの・夏物

ふゆやま 冬山はキケン

まふゆ 真冬まなつ・真夏

とうき 冬期やすの休み

とうき 冬季オリピック

とうじ 冬至げし・夏至

げんとう 厳冬げんかん=厳寒

しょうとう 初冬しょか・初夏

だんとう 暖冬いへん異変

ばんとう 晩冬ばんしゅう・晩秋

りっとう 立冬りっしゅん・立春

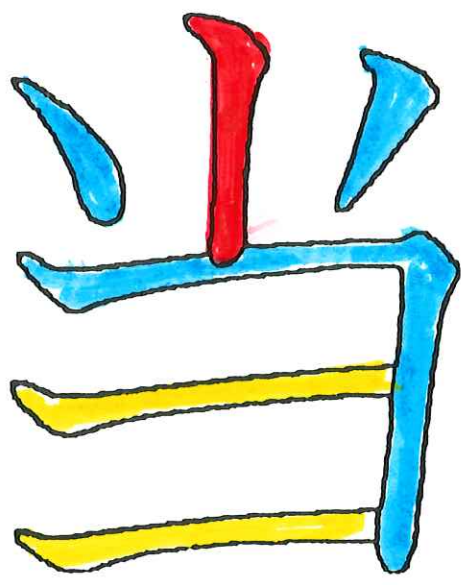


あ



⑥

あ (たる)



あ

あたる 当たる
 あたらない 当たらない

あてる 当てる
 あてもの 当てもの

とうきよく とうきよく かんち 当局の関知 せぬ こと
 とうこう とうこう 当行・当社・当校
 とうこん とうこん 当今・以前

とうざ とうざ 当座 よ 預金

とうしゃ とうしゃ 当社 せいひん の製品
 とうじ とうじ 当時 おも を思い出す

とうじつ とうじつ 当日 うけつけ 受付

とうぜん とうぜん 当然 です
 とうだい とうだい 当代 めいじん の名人

とうち とうち 当地 めいさんひん の名産品
 とうちよく とうちよく 当直 ばん の番

とうにん とうにん 当人 たず に尋ねる
 とうねん とうねん 当年 じっさい とって十才
 とうばん とうばん 当番・非番
 とうひ とうひ 当否 と を問う

とうぶん とうぶん 当分 あいだ の間
 とうほう とうほう 当方 といたしましては
 とうめん とうめん 当面 ほうほう この方法で
 とうよう とうよう 当用 にっき 日記
 とうらく とうらく 当落 よ を予想する

けんとう けんとう 見当 をつける
 げいとう げいとう すごい芸当
 じゅんとう じゅんとう 順当 けっか な結果

せいとう せいとう 正当 ほうえい 防衛

たんとう たんとう 担当 する

てきとう てきとう 適当・不適當 ふ

にっとう にっとう 日当 をもらう
 ふとう ふとう 不当 たいほ 逮捕

べんとう べんとう 弁当 た を食べる

ほんとう ほんとう ウソと本當